

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 20 年 1 月 24 日 (2008.1.24)

【公開番号】特開 2002-175798 (P2002-175798A)

【公開日】平成 14 年 6 月 21 日 (2002.6.21)

【出願番号】特願 2000-374746 (P2000-374746)

【国際特許分類】

H 0 1 M 2/32 (2006.01)

C 2 2 C 11/02 (2006.01)

H 0 1 M 2/28 (2006.01)

H 0 1 M 4/68 (2006.01)

H 0 1 M 4/74 (2006.01)

H 0 1 M 10/12 (2006.01)

【F I】

H 0 1 M 2/32

C 2 2 C 11/02

H 0 1 M 2/28

H 0 1 M 4/68 A

H 0 1 M 4/74 B

H 0 1 M 10/12 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 12 月 4 日 (2007.12.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 負極格子に、カルシウム (C a) を 0 . 0 2 5 ~ 0 . 0 6 5 質量 %、錫 (S n) を 0 . 2 5 ~ 1 . 0 質量 % 含む鉛 (P b) - C a - S n 系合金を用い、極板耳部を接続するストラップを形成するための足し鉛として、純鉛、あるいは S n を 1 . 3 質量 % 以下含む P b - S n 合金を用いたことを特徴とする密閉型鉛蓄電池。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

また、請求項 1 に記載の密閉型鉛蓄電池において、正極格子に、C a を 0 . 0 2 5 ~ 0 . 0 6 5 質量 %、S n を 1 . 1 ~ 2 . 0 質量 % 含む P b - C a - S n 系合金を用いればより好ましい。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

また、本発明の密閉型鉛蓄電池において、正極格子および / または負極格子がアルミ

ニウム (A l) を 0 . 0 0 3 ~ 0 . 0 3 質量 % 含むもの本発明では、請求項 1 に記載の鉛蓄電池において、前記 P b - S b - A s - S e 系合金が、S n を 0 . 0 2 ~ 0 . 1 質量 % 含むものとすればより好ましい。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 6】

さらに、正極格子が銀 (A g) を 0 . 0 3 ~ 0 . 0 9 質量 % 含むものとすればより好ましい。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

また、本発明は、正極格子および / または負極格子を圧延シートあるいは鋳造シートをエキスパンド加工あるいは打ち抜き加工したものに好適に適用できる。